

# まちの目記帳



## 東日本大震災の被災・復興状況を視察 -平成24年度積丹町議会行政視察-

11/20 ~ 22

平成24年度町議会の行政視察として、田村副議長、葛西議員、海田議員、事務局職員の4人が、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市を訪れ、被災状況や復興の様子を視察しました。

震災で、市街地とともに庁舎が全壊した同市では、現在、高台にプレハブの庁舎を設け、行政サービスの提供と復興に向けた取り組みがなされており、同市を訪れた議員らは、伊藤市議会議長や千葉議会事務局長から、被災状況や震災時の議会の対応などについて説明を受けました。その後、同市内を視察し、震災から1年半が経過した現在も大量のがれきが残されている現状を目の当たりにし、震災の凄まじさをあらためて痛感しました。



▲千葉議会事務局長による被災及び復興状況説明(仮設の陸前高田市役所)



◀被災を受けた本庁舎

## まちづくりのヒントを探る 「まちづくり研修会」を開催

11/22

「まちづくり研修会」が総合文化センターで開催され、北星学園大学准教授の中田知生氏を講師に、「積丹町調査とまちづくりの可能性」と題して講演が行われました。研修会では、町民の意識や傾向、一人暮らしをされている高齢者のサポートの実態等について実施したアンケート調査の結果を説明するとともに「まちづくりは、より多くの人々の意見を聞きながら、じっくり時間をかけ、ネットワークを広げていくことが大切。また、自分たちの住む地域の魅力や課題を再確認し、女性や若い人の視線を取り入れることも重要。」などと話され、約50人が熱心に耳を傾けていました。



## 口腔機能向上・栄養改善を学ぼう！ 『健口教室』を開催

12/1 ~ 12/5

口腔機能の向上と栄養改善を目的に、町地域包括支援センターが主催する「健口教室」が野塚地区ふれあい交流館と総合文化センターを会場に12月1日、5日にそれぞれ行われ合計28人が参加しました。

教室では、積丹町歯科診療所の尾立光先生や古平町の宮田かよ子栄養士の協力のもと、歯科健診や歯に関する相談のほか、栄養に関する講話や不足しがちな食材を補うための簡単なメニューなども紹介され、参加者は、真剣に耳を傾けていました。また、試食会では、「美味しい。うちでも作ってみるわ。」など、とても好評で、参加者同士の会話も弾み楽しそうに取り組まれている姿が見られました。



## 温かい拍手と声援に包まれて びくに・みなと保育所で生活発表会

12/1

12/9

第35回びくに保育所、第18回みなと保育所の生活発表会が12月1日、9日にそれぞれ行われました。

日頃の園内での生活や成果の一端を披露する生活発表会。園児たちは、家族や地域の皆さんなど多くの観客が見守る中、ちょっぴり緊張しながらも、かわいらしい衣装や勇ましい衣装を身に着けて、遊戯や劇、合唱など、一人ひとりが真剣に生き生きと発表していました。

園児の成長と頑張りに会場からは温かい拍手と声援が送られ、園児たちもとても満足気な様子でした。



◀ びくに保育所



みなと保育所 ▶

## マンドリン演奏で聴衆を魅了！ ～平成24年度町民文化公演会～

12/2

町教育委員会が主催の町民文化公演会が総合文化センターで開催され、北海道大学マンドリンクラブ「アウロラ」による演奏会が行われました。

90年の歴史を持つ同クラブは、マンドリン、マンドロンチェロ、マンドラテノール、コントラバス、ギターの5種類の楽器で編成されており、それぞれの楽器が奏でる繊細な音色に町民など約100人が耳を傾けました。

演奏会は2部構成で行われ、「ジングルベル」や「丘を越えて」、時代劇やアニメのメドレーなども演奏され、口ずさむ声が聴かれるなど、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれていました。



## 歌や踊りで楽しいひととき 美国婦人会・びくに保育所園児が慰問

12/10

12/12

美国婦人会（戸来和子会長）とびくに保育所園児によるやすらぎへの慰問が2日間の日程で行われ、同施設入居者とデイサービス利用者が歌や踊りを楽しみました。

毎年、この時期に行われるこの慰問活動を楽しみにされている利用者の皆さん。初めに、アニメの人気キャラクターなどに变身した園児たちによる遊戯が、続いて婦人会の皆さんによる本格的な歌や舞踊が披露されると、手拍子を打ったり、時には声援を送ったりと、とても喜ばれていました。また、最後は、婦人会の皆さんによる鹿児島音頭も披露され、楽しい交流のひとときとなりました。

同婦人会の慰問は今年で、17年目を迎えます。

